

2026年3月期（第24期） 中間決算説明会

2025年11月12日

株式会社ジーダット



1. 2026年3月期中間決算概要

2. 下期拡販戦略と今後の取り組み

3. 2026年3月期 通期予想

2026年3月期中間決算のポイント

売上高 前年同期比：6.0%増

営業利益
経常利益
中間純利益

前年同期比：17.1%増
前年同期比：6.9%増
前年同期比：15.7%増

自社製品の付加価値向上による売上の増加

新規商材の売上も寄与する等、代理製品も好調

人員増による固定費増加なるも営業利益は大幅増加

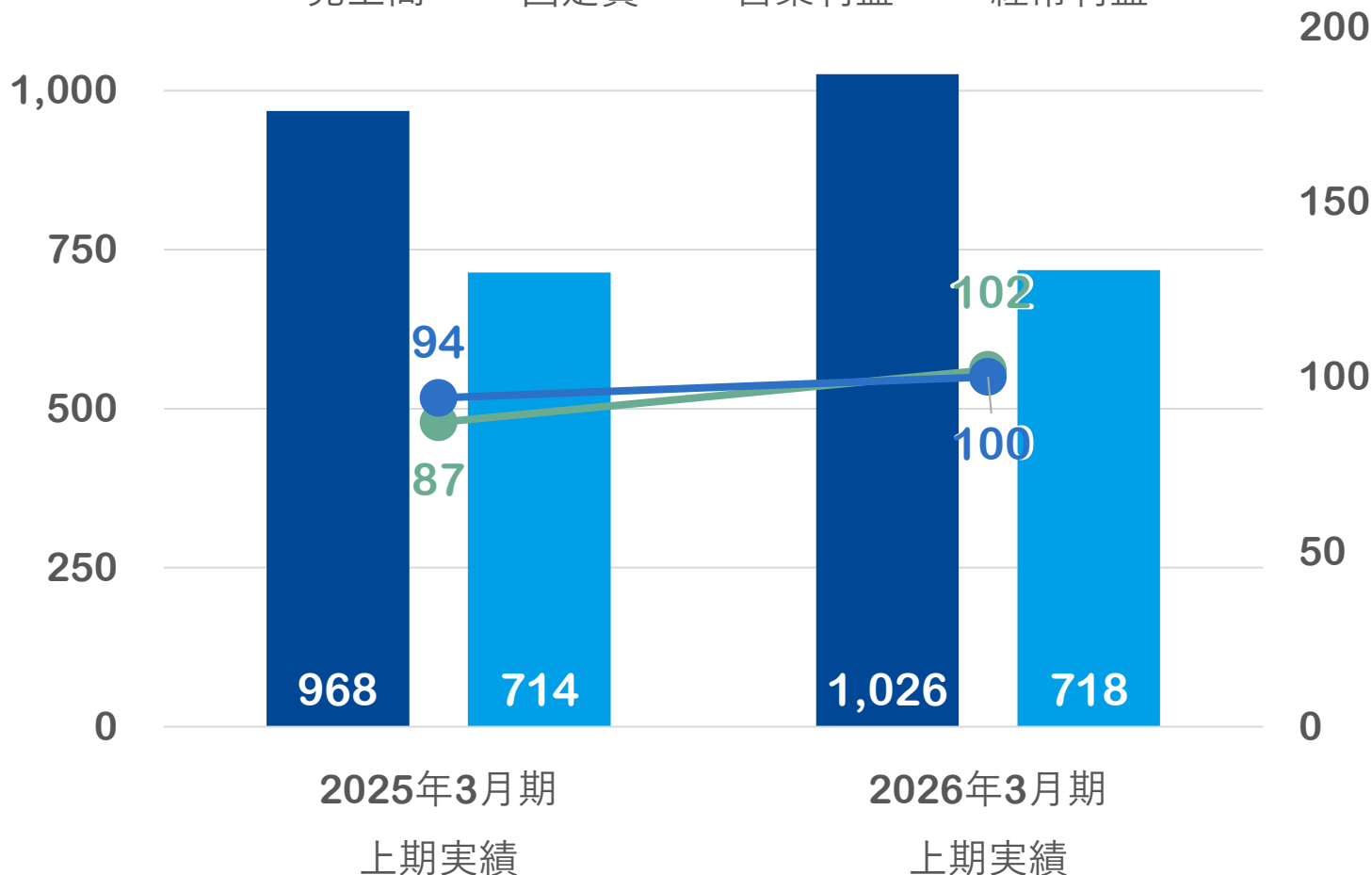
上半期実績 — 前年同期比・計画比 —

(単位：百万円)	2025年3月期 上半期実績	2026年3月期上半期			
		期初計画	実績	前年同期比	計画比
売上高	968	1,000	1,026	+6.0%	+2.7%
売上総利益 (率)	594 61.3%	630 63.1%	644 62.8%	+8.5%	+2.2%
販売費及び 一般管理費	507	540	542	+7.0%	+0.3%
営業利益	87	90	102	+17.1%	+13.3%
経常利益	94	95	100	+6.9%	+6.0%
中間純利益	65	66	75	+15.7%	+13.1%

上半期売上高・利益 — 前年同期比 —

(単位：百万円)

■売上高 ■固定費 ●営業利益 ●経常利益



- 売上高が大幅増加し固定費の若干の増加はあるものの、営業利益は大幅増加
- 為替差損等による営業外損益の悪化により経常利益は営業利益より減少（ただし前年よりは増加）

貸借対照表 — 前期末比 —

(単位：百万円)	2025年 3月末	2025年 9月末	差異		2025年 3月末	2025年 9月末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	3,107	3,188	80	I 流動負債	675	829	154
1 現金及び預金	2,545	2,726	180	1 買掛金	56	50	△ 6
2 受取手形及び売掛金	286	203	△ 82	2 未払法人税等	12	35	23
3 電子記録債権	219	196	△ 22	3 賞与引当金	94	91	△ 2
4 仕掛品	2	—	△ 2	4 前受金	441	572	130
5 原材料	0	0	△ 0	5 その他	70	79	9
6 その他	53	61	8	II 固定負債	3	3	—
II 固定資産	1,165	1,160	△ 4	資産除去債務	3	3	—
1 有形固定資産	22	17	△ 5	負債合計	679	833	154
2 無形固定資産	14	11	△ 3	(純資産の部)			
3 投資その他の資産	1,128	1,132	3	I 株主資本	3,594	3,515	△ 78
(1)投資有価証券	132	126	△ 5	1 資本金	762	762	—
(2)繰延税金資産	56	58	1	2 資本剰余金	893	893	—
(3)長期預金	900	900	—	3 利益剰余金	1,966	1,888	△ 78
(4)その他	39	46	7	4 自己株式	△ 28	△ 28	—
資産合計	4,273	4,349	76	純資産合計	3,594	3,515	△ 78
				負債純資産合計	4,273	4,349	76

キャッシュフロー計算書

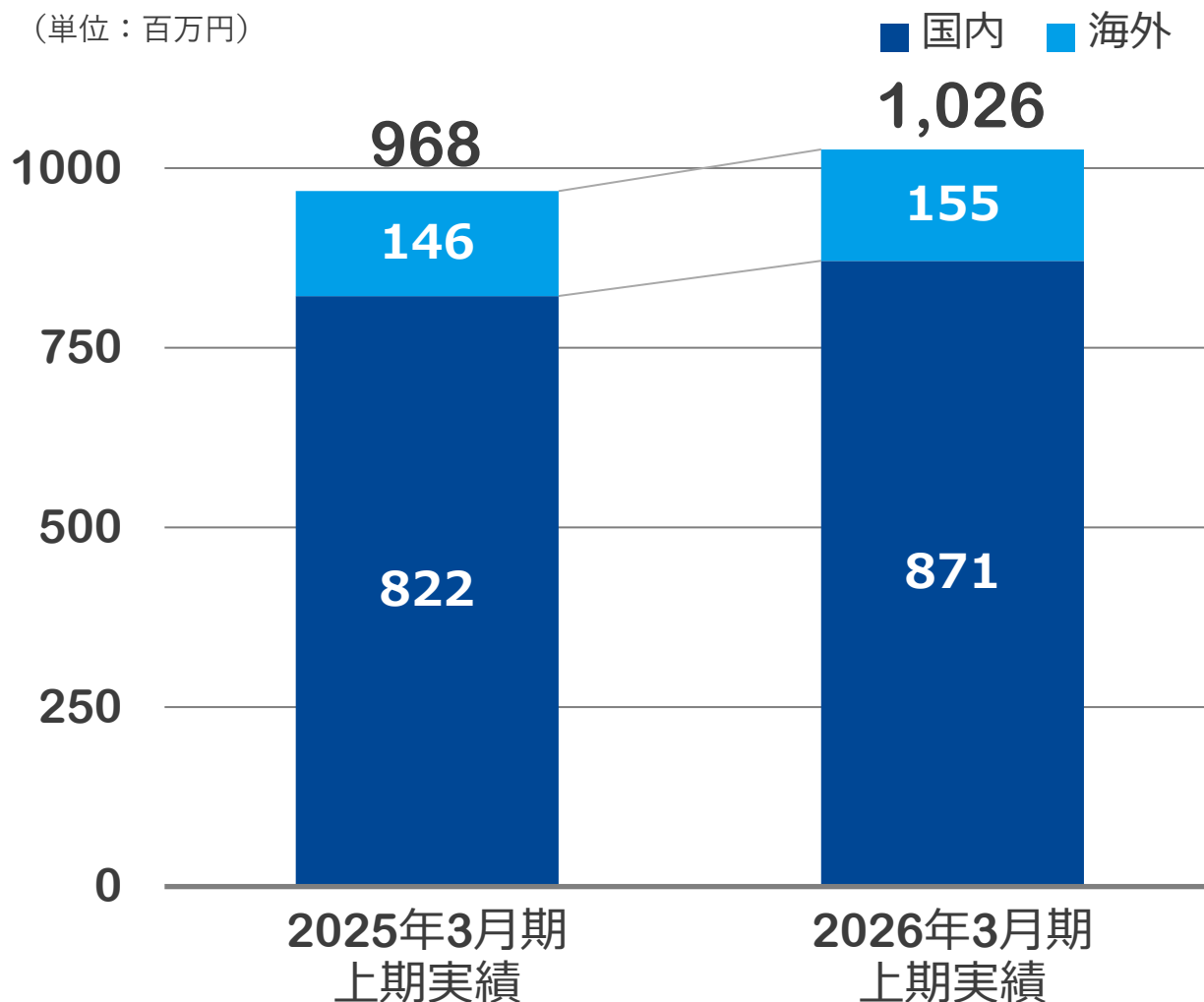
－ 前年同期比 －

(単位：百万円)

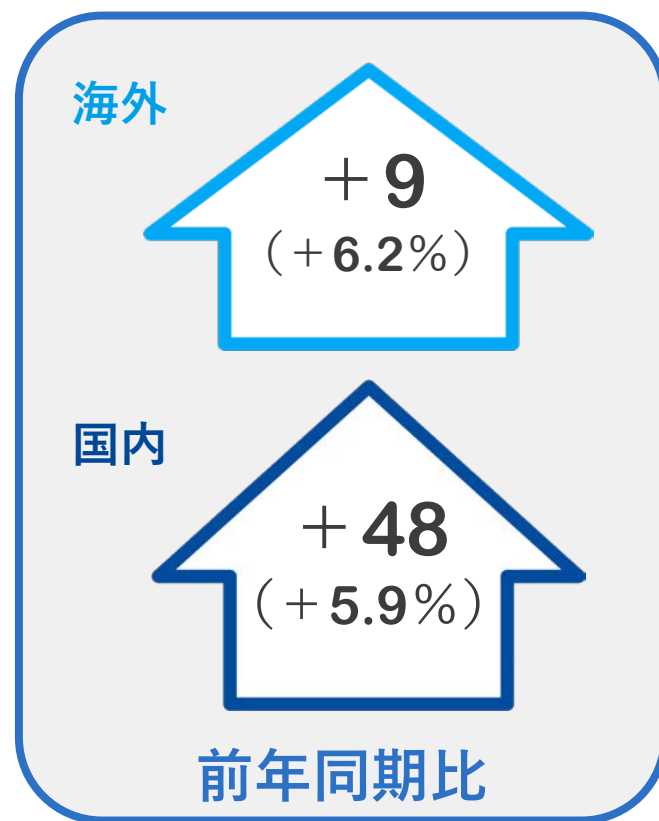
	2024年4月1日 ～ 2024年9月30日	2025年4月1日 ～ 2025年9月30日	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	144	351	206
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	△ 16	△ 6
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 153	△ 153	—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	—	0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 20	180	201
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,547	2,545	△ 1
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,526	2,726	199

地域別売上高（国内/海外）－前年同期比－

（単位：百万円）



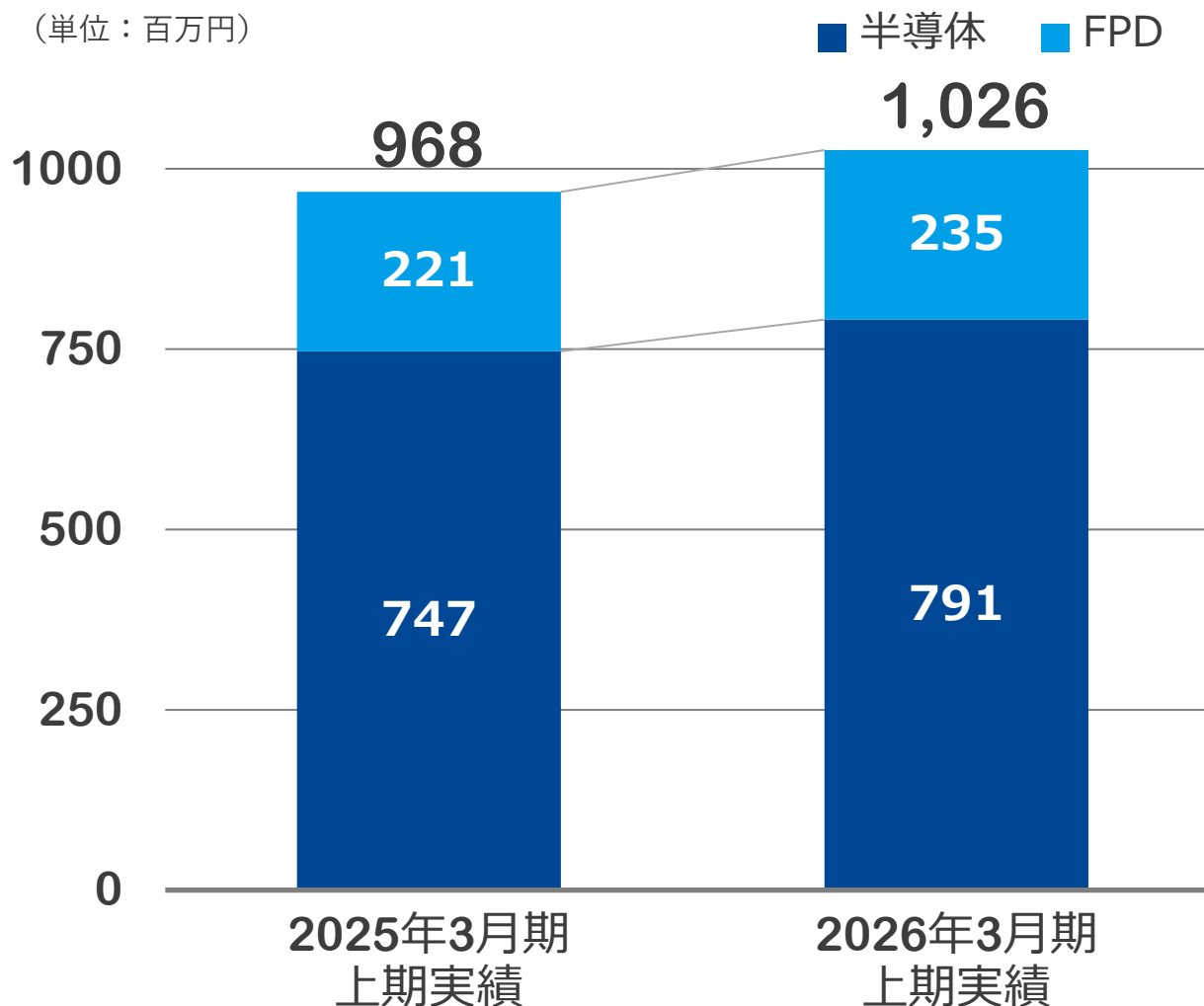
国内は代理製品売上が大幅増加、海外も増加



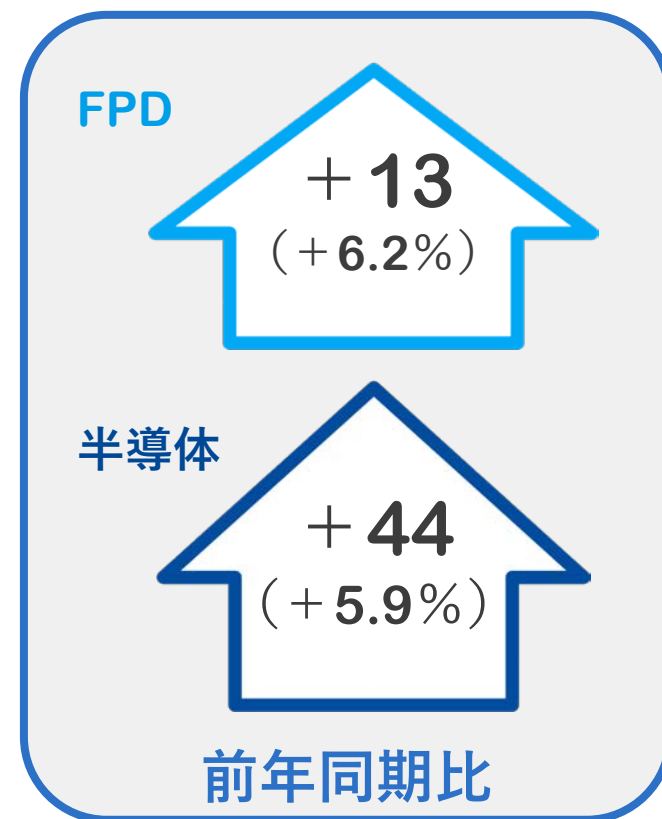
市場別売上高（半導体/FPD）－前年同期比－

※ FPD : Flat Panel Display

（単位：百万円）



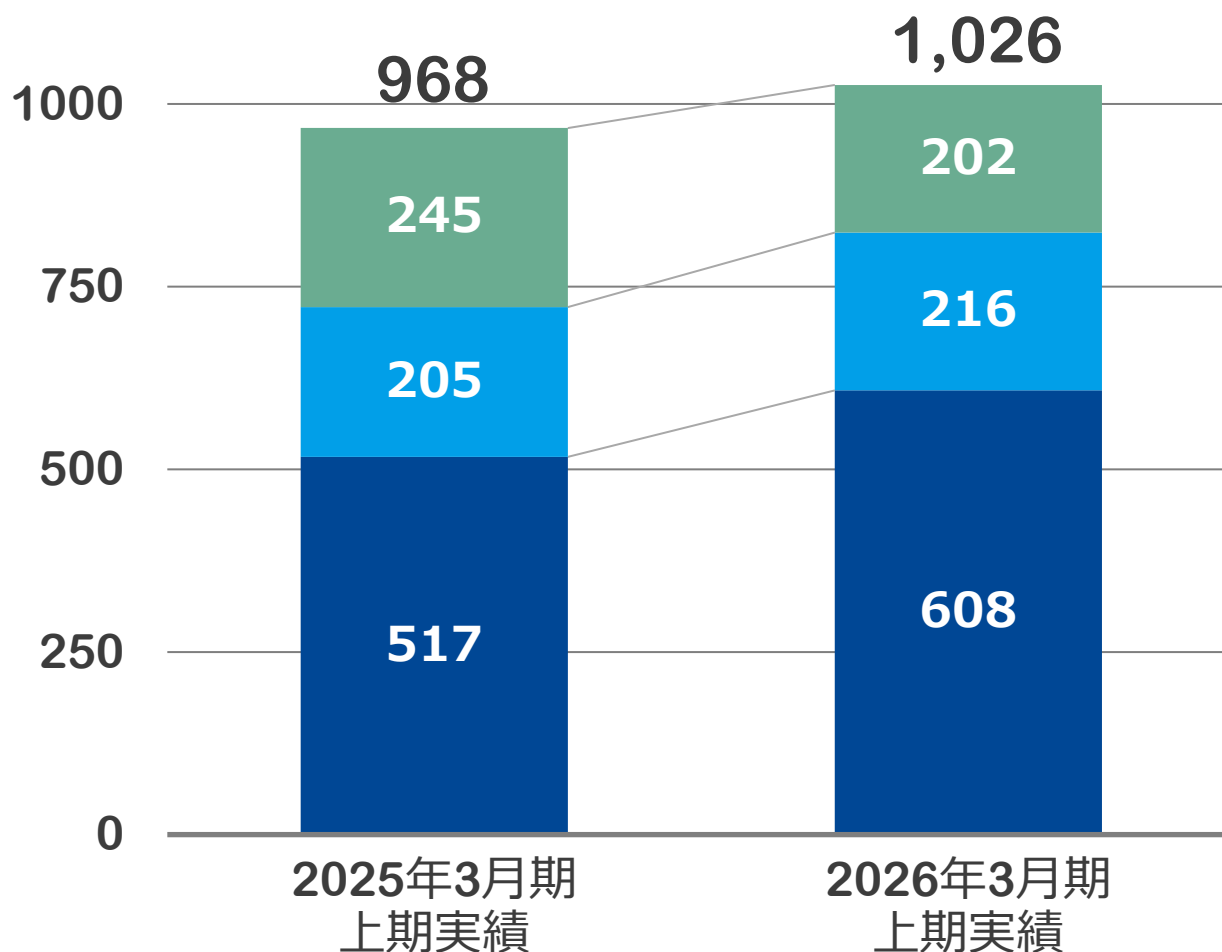
半導体市場向けの売上高が
大幅増加



事業別売上高（製品/サービス/ソリューション）－前年同期比－

（単位：百万円）

■ 製品 ■ サービス ■ ソリューション



ソリューションは減収なるも
製品売上高が大幅増加

ソリューション

△43

(△17.6%)

サービス

+10

(+4.9%)

製品

+90

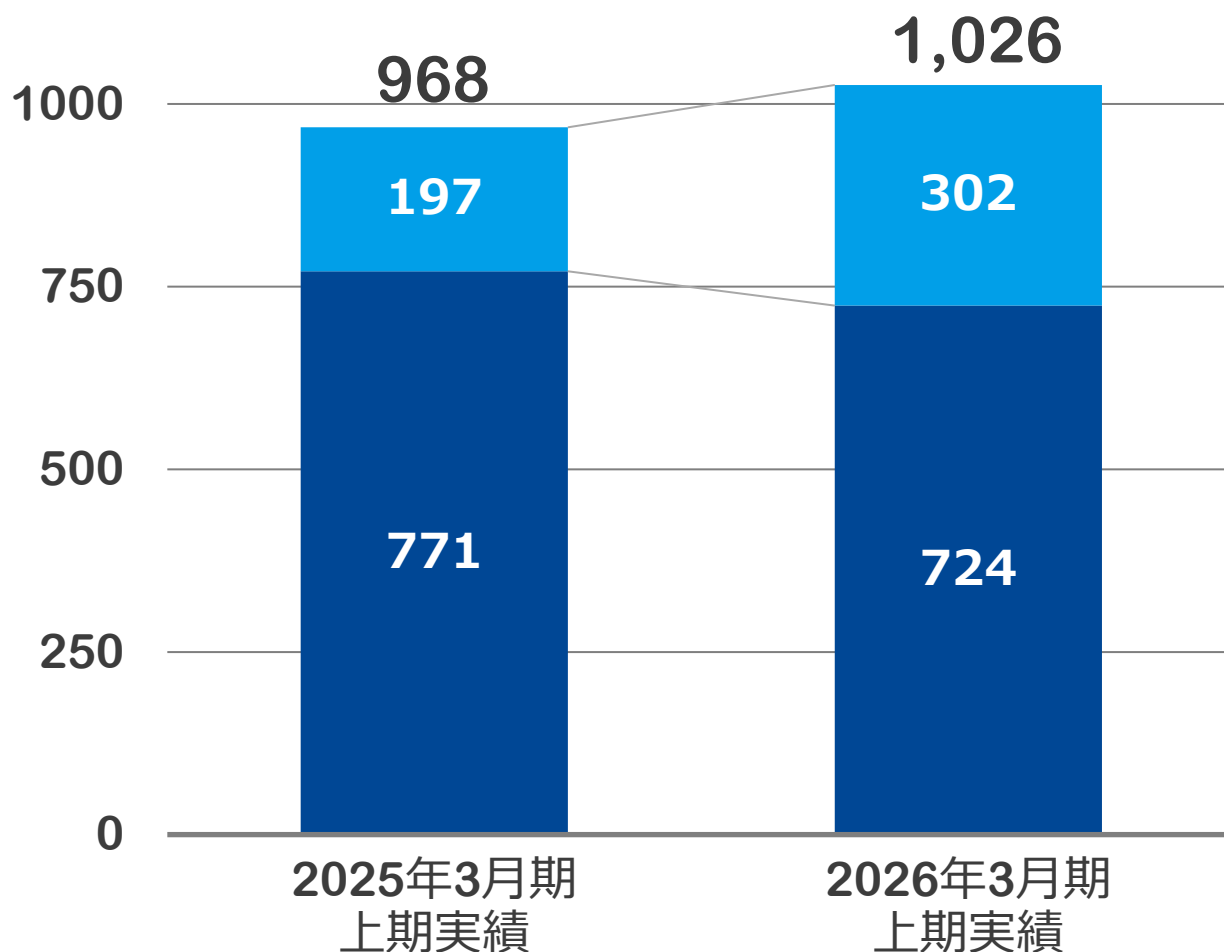
(+17.6%)

前年同期比

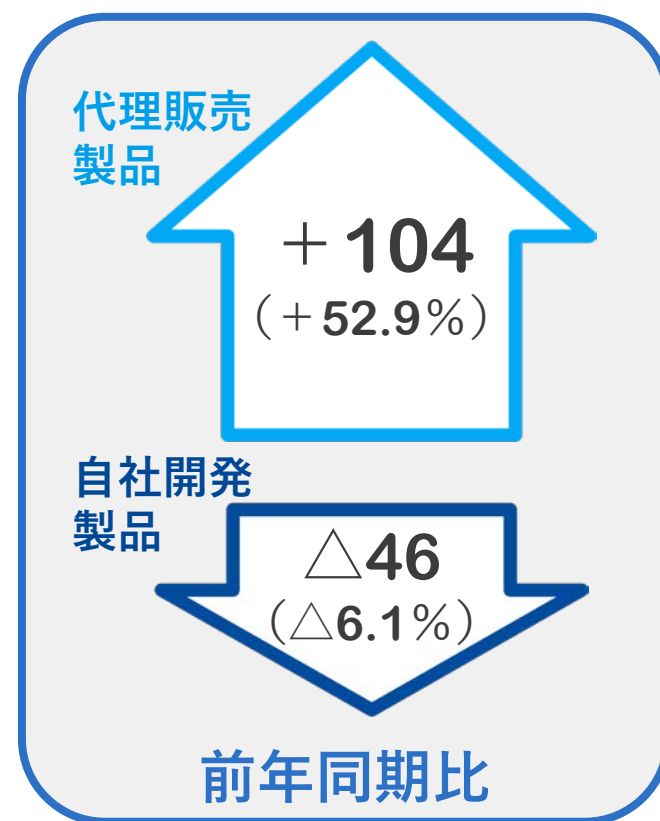
製品区分別売上高（自社開発/代理販売） — 前年同期比 —

（単位：百万円）

■ 自社開発製品 ■ 代理販売製品



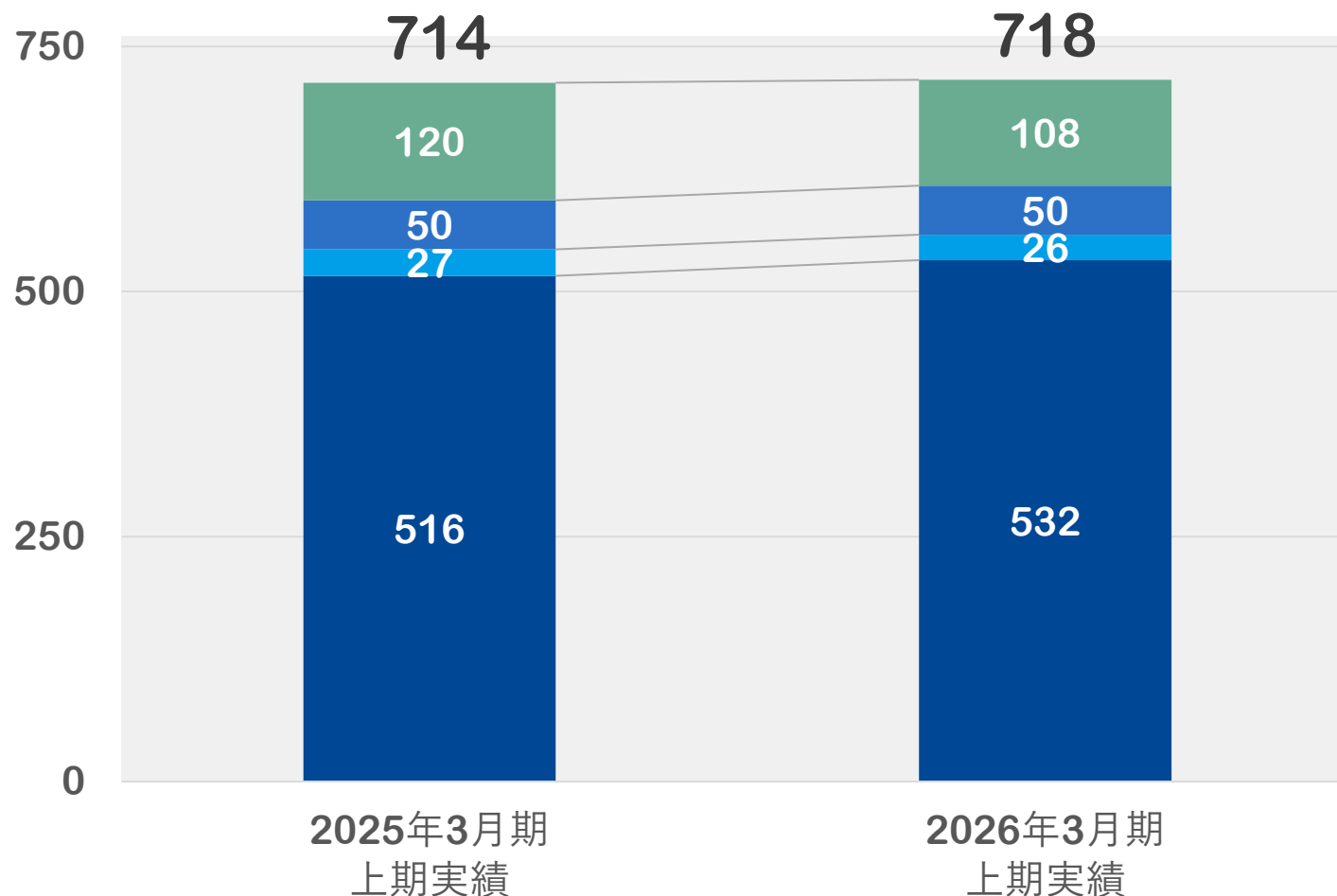
代理製品の売上が大幅増加
（自社の減収はソリューションの
減収によるもの）



固定費内訳 – 前年同期比 –

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 外注費 ■ 建物関係/減価償却費 ■ その他経費



- 人員増と昇給等による人件費が大幅増加なるも、その他経費を絞ったため、固定費全体としては若干の増加に留まる

上半期概況

半導体

- ◆ A I 関連分野が好調なるも二極化の様相
 - ◆ スマートフォン・パソコン関連のオンデバイス A I 期待はまだ道半ば
 - ◆ E V 化の減速感もありパワー半導体は在庫調整局面
 - ◆ トランプ政権の関税政策の影響は今後出てくることが予想されるが、上半期には特段の影響なし

FPD

- ◆ 国内大手メーカーが事業撤退
 - ◆ 厳しい状況が続くが、投資は継続

トピックス

◆ SX-Meister V19.0をリリース

- ◆ フォトマスクの静電破壊検証技術の実装
- ◆ 機能追加による操作性の向上

◆ C D E C*へライセンスの提供 * Circuit Design and Education Center

- ◆ 4月に有明高専が開設したC D E Cへ、教育利用を目的とした**SX-Meister**のライセンスを提供し、**LSI**設計の人材育成に貢献

◆ 展示会への出展を通じて顧客開拓活動を加速

- ◆ 4月に開催された「**Photomask Japan 2025**」や、8月に開催された「**DVCon Japan 2025**」に、主力製品や各パートナー企業の代理販売製品を出展

1. 2026年3月期中間決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2026年3月期 通期予想

下期拡販戦略と今後の取り組み（１）

◆ 製品開発・販売

- ◆ 主力製品の更なる機能強化と販促活動の強化
 - ・ 新規リリース品の販促・情報発信活動を促進
 - ・ 大学・高専・企業との連携を強化
- ◆ 新規ユーザの開拓強化
 - ・ 未開拓ユーザへの営業活動の強化
 - ・ 保守未締結ユーザの保守契約提案の強化、キャンペーンの実施検討
 - ・ **PowerVolt**商談の発掘
- ◆ 海外半導体市場向け活動を強化
 - ・ **HOTSCOPE**や**PowerVolt**等の拡販活動の促進継続

下期拡販戦略と今後の取り組み（２）

◆ ソリューション・ビジネス

◆ カスタムソフトウェアビジネスの拡張

- ターゲットを明確にし、商談の発掘に尽力
- カスタム事例集のアップデートによる営業活動の強化

◆ デバイス設計受託サービスの拡大

- 受託可能な設計量の拡張
- 国内新規顧客の開拓活動を継続

1. 2026年3月期中間決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2026年3月期 通期予想

2026年3月期 通期のポイント

主力製品の開発・機能強化活動を継続

新規ユーザの開拓強化・カスタム商談の発掘

デバイス設計受託サービスの生産性の向上

固定費予算の抑制的運用

通期予想 — 前年同期比 —

	2025年3月期 実績	2026年3月期予想	
		期初計画	前年同期比
売上高	2,062	2,200	+ 6.7%
営業利益	256	290	+ 12.8%
経常利益	290	300	+ 3.4%
当期純利益	213	220	+ 3.1%

ご清聴ありがとうございました